中野区議会 令和６年 第１回定例会 での一般質問の一部（全文はQRコードから）

スタートアップやマッチングなどの支援拡大について

中野区で起業して、少し事業が拡大しても中野区に留まるメリットとは何か。無利子貸付、企業相談、新規顧客開拓支援などはどこの区でも行っている支援内容。他区にない支援を明確に打ち出していかなければ、中野区に引っ越してきて、中野区で起業し、事業拡大しても中野に留まるという流れは作れない。

中野区で起業したら「プロモーション環境が整っている」「横のつながりができる」「定量的な仕事が見込める」「自分の苦手分野が補完でき、ビジネスを大きくできる」「地域に根差した活動ができる」など、メリットをしっかり打ち出す必要がある。

まずは、中野区にたくさんいると思われる漫画家、デザイナー、アーティスト、映画監督など、クリエイティブ系のたまごな人たちが創業できるような仕掛けを。

【質問】区内の絵やイラストに興味がある人が気軽にコミュニケーションできたり、自分の作品をアップできる Web サービス「pixiv」のような区営の「コンテンツサイト」を立ち上げ、中野区民が中野区内で起業しようとする人に無償でそのサイト利用を許諾し、自分の特徴的な作品を掲載できる、見込みクライアントとマッチングできる、仕事の依頼を受けられるようなサービスを、起業した人限定で提供すればよいと考えるが、いかがか？

【答弁】新たな中野区産業振興方針に基づき、伴走型支援体制の構築、創業者を対象としたネットワークの構築、チャレンジショップ事業の実施など、創業者向けの支援事業を拡充する予定。他自治体の取り組みを注視しながら、起業やビジネスマッチングの支援策の実効性を高める。

スタートアップやマッチングなどの支援拡大について

来年度、区は中野をプロモーションするショートフィルムコンテストを実施予定。

【質問】かつて新人監督映画祭など、若手向けのコンテストなどを中野区でも行っていたが、ショートフィルムコンテスト以外に、絵画コンテスト、フォトコンテスト、グラフィティーアートコンテストなども実施すべきと考えるが、いかがか？

【答弁】提案の内容は、区役所新庁舎１階イベントスペースなどを利用して実施可能であり、ショートフィルムコンテストと親和性があるものと考えている。ショートフィルムコンテストの実施結果などを踏まえながら、今後検討する。

受賞歴は大きな肩書にもなるので、色んなジャンルの色んな賞を用意してあげることが肝要。区として賞という勲章を付与してあげることが仕事が増えるきっかけにもなり、結果、税収も増える。

【質問】トムスやマッドハウスなどのアニメ企業、東京工芸大学やアンプス、マンガスクール中野などの学校などを巻き込みながら、企業クリエイター間交流会などを定期的に行うことで、企業とクリエイターとの繋がりも持て、仕事にもつながっていく事も考えられるが、いかがか？

【答弁】現在、オール中野による包括的な経営支援体制の構築を進めているところで、中小事業者同士が交流する場を設けることを検討している。

○○のたまごの多い中野区なので事業拡大のセミナーなども考えられるが、手始めにハードルを下げた業界交流会の企画を進めて頂きたいと要望しておく。

中野駅周辺の共有地利用や空間マネジメントについて

中野駅周辺まちづくりにより、小さな公園や空地が生まれる。公園に関しては公園条例が適用されるため、にぎわい創出などに利用する場合は金銭の発生する営業活動は行っても良く、様々なイベントなどが実施でる。しかしながら、生まれた空地に関しては各土地や床保有者側それぞれの決め事になる。

【質問】営利目的ではなく地域の活性化などにぎわいの創出目的であれば、空地の規制も公園条例と同じような内容に統一し、地場産業に係る商売もできるなどある程度自由度のある運営にしたほうが良いのでは？また空間もマネジメントが必要と思うが？

【答弁】中野駅周辺エリアマネジメント協議会では空間ワーキングにおいて空間活用ルールを定め行為や手続き等の検討をしている。創出される公開空地を活用する際、それぞれの管理規約での取り扱いに差が出ないよう共有を図り、区が空間活用に係る制度化に向けて検討を進める。

QRコードから一般質問全文が見られます！

中野区の令和６年度の一般会計予算 2004 億円を１万円としたら!?

一般会計の予算は過去最高となる 2004 億余。新庁舎移転とそれに伴う DX の推進や区民サービスの向上を図り、また区民ニーズに最大限応え、中野区基本計画の後期の取り組みを具体化した中野区実施計画の達成に向けた予算編成で、「子どもの意見を反映させた教育活動の推進事業」も始めます。子ども関連、健康福祉関連、まちづくり関連という順で予算の配分がされています。また能登半島大地震を教訓とし、大幅に食料や携帯トイレなどの防災関連予算も積み増ししました。

商店街応援団・文化芸術マニア・DXスペシャリスト・地域活動紹介等

地域イベントボランティア活動

中野ランニングフェスタは初回開催時から記録係ボランティアを率いて参加者の写真を撮っています。日本つけ麺学会ではつけ麺食べ歩きツアーを実施、中野区長らと共に、つけ麺発祥の地・中野を盛り上げています。

ゴミ拾い＆夜の地域パトロール

主に月曜日の朝には事務所周辺道路や囲桃園公園のゴミ拾いを実施。金曜日の夜８時からは桃園町会の防災防火部長として雨天荒天を除き、毎週拍子木を叩き商店街や桃園エリアの夜のパトロールを実施しています。